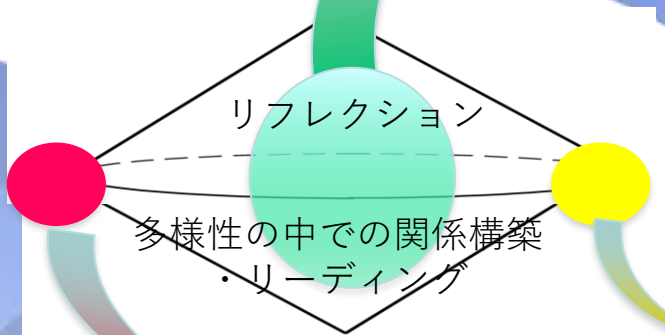


PSRベーシック・プログラム2019 「リベラルアーツと自分軸の確立」 参加者の声

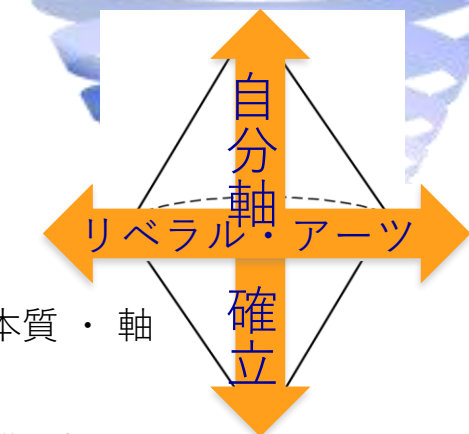
経済人コー円卓会議日本委員会

CAUX  ROUND TABLE

実践 (個別コンサルティング)



異文化間における
創造的合意形成



【PSRプログラム全体像】

(4) **Caux**プログラム：6日間
(毎年7月上旬開講予定)

(3) フィールドワーク
7日間/回 年に2回の実施予定
**アジア、ヨーロッパで
各1回想定

(2) アドバンス・プログラム
3時間/x 6回 (隔月開催)

(1) 8ヶ月ベーシック・プログラム
2日間連続・終日/月 x 8回

◆ プログラム受講前と比較してのご自身の変化

- ▷ 余白を意識するようになった。
- ▷ ものごとを複数の視点でみようという意識になった。
- ▷ 自分や他人の行動・言動の背景にある価値観を考えようとする姿勢に変わったと思う。
- ▷ 顧客はもちろん、TA、社内（特に部下）とのコミュニケーションの取り方が変化した
- ▷ 今という時代や世界を俯瞰してみることができ、その中で生きていく自分は何を成し 遂げたいのか？がより明瞭になった。
- ▷ 今までぼんやりしていた自分のやりたいこと、大切にしているモノ、挑戦したいことがはっきりと明確になったわけではないが、少しずつクリアになってきた気がする。

◆ プログラム受講前と比較してのご自身の変化

(続き)

- ▶ 自分がやりたいことを実現するためにどういう組織体に属するのか、そういう時代になる、と思うようになった。
- ▶ あまり使っていない思考の感覚器、神経回路があったことを思い出した。
- ▶ 大きな視点で見ようと考えるようになった。
- ▶ 外国人と話す際に宗教の話はタブーと、これまで自制していたが、少しずつ様子を しながら話してみることが増えた。

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで）

- ▷ ルールメイキング
- ▷ **ESG, SDG s**
- ▷ 哲学、中国古典
- ▷ 原点回帰
- ▷ 自分自身を振り返ることの大切さを学んだこと
- ▷ これからの企業の在り方について考える機会をもったこと
- ▷ **ESG**など最先端の世界の動きを知ることができた。
- ▷ メンバーと議論することを通じ、必ずしも、現業の延長線上にあるべき姿はないのかもしれないと思えたこと

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで） *続き

- ▷ 自分自身の軸
- ▷ 柔軟な視点（ものの見方）
- ▷ 間のとり方（相手とのスペース）
- ▷ 日本の美意識
- ▷ 自分を知って他人を知り、そして世界を知るためにも、まず、日本のことをきっちり学ぼうという気持ちが深くなった
(我々日本人のうち、果たしてどれくらいの人が日本の伝統文化や芸能、歴史について外国人に正確に伝えることができるだろうか？という課題意識が芽生えた)
- ▷ 自分を知り、他者を知り、そして世界を知る、ということ

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで） *続き

- ▷ いろいろな切り口で俯瞰できたこと
- ▷ 自社グループ内に優秀な人がいる
- ▷ 主張AとBから新たなCをつくる
- ▷ 自分の視点が自分本位の傾向が強いという気づき
- ▷ 哲学と宗教観の入門的知識（特に西洋）
- ▷ 企業を評価する基準の急激な変化とルールメイキングの仕組み・背景
- ▷ 日本文化 / 美意識の再認識と体系的理解への着手

◆ プログラムへの参加を通じ、もっとも印象に残っていること

- ▷ 資本主義とキリスト教の関係（これまで考えたことがなかったが学びになった）
- ▷ 倫理観の大切さ
- ▷ 正しいと信じられる軸の確認
- ▷ 日本の立ち位置 / 地政学的位置
- ▷ 時代の流れは大きな振り子、ゆっくりうごめくマグマが臨界点に達した時、社会に大きな動きが生まれる
- ▷ 宗教、資本主義、社会主義、いずれもそのようなタイミングで発生している。
- ▷ 人間力評価軸（特に初回）

◆ プログラムへの参加を通じ、もっとも印象に残っていること *続き

- ▷ 自分の言葉で伝え、他者に理解され納得感を得る
- ▷ 普遍性・世界全体観において語ること
- ▷ 龍安寺の石庭見学。石を時の流れ（石のまとまりを争いと見立て、時を経るに従い、小さな石でも大きな石の支配下から脱し、独立して存在できるようになった）と見たメンバーがいて、その発想がすごいと感じた。
- ▷ 龍安寺の石庭
- ▷ 写経

◆ プログラムの一番の魅力

- ▷ 具体と抽象の行き来（視察と座学、経験談）
- ▷ 自分自身を客観視する時間を持つこと
- ▷ リベラル・アーツの分野に落として、多岐にわたった内容を知ることができる
- ▷ これまで学習してこなかった“人間にとっては”を考えたことは今後の参考になる
- ▷ 石田さんの経験や考え方を教えていただいた点
- ▷ 自分では絶対に選んで買うことのない本との出会い
- ▷ 普段、自発的には手にしないような書籍や行かないような場所を経験できること、それを通じて価値観が変わるきっかけとなること

◆ プログラムの一番の魅力 * 続き

- ▷ 通常の業務では得られない気づきがある
- ▷ 気づきのヒントを基に、今後の成長の方向を考えられる
- ▷ 日常の業務から一歩抜け出す時間を無理矢理つくれるところ

◆ その他、ご感想など

- ▷ 8ヶ月間、外部視察、レクチャーを通じて貴重な情報インプットをありがとうございました。今後は、実業務を通じてお世話になるかもしれません。その際はよろしく お願いいたします。
- ▷ もっと若い時から、このようなプログラムを受けるのが良いと思いました。

◆ その他、ご感想など * 続き

- ▶ 最後に龍安寺に行ったのは、自分の中に深く入ることができてよかったです。自分と向き合うよい機会でした。哲学や中国古典も自分と向き合うツールになるので、活用したいと思います。ありがとうございました。
- ▶ 石田さんのファシリテートで、同世代の方々とざっくばらんに思っていることを話すことができ、楽しかったです。
- ▶ もう少し、事前学習で読んだ本の内容を深掘りする時間が欲しかったです。読むのも難しいような本が多かったので、サマリーや他の人がどう感じてどう理解したのか？それを知ったうえで、現在起こっている日韓問題、EU離脱、米国ファーストなどを 題材に理解を深めたいと思いました。
- ▶ またご縁がありましたら、よろしく願いいたします。
- ▶ 約一年間、ご指導ありがとうございました。

CAUX ROUND TABLE